

# 大仙市農業再生協議会（秋田県大仙市）

## 組織の概要

- 大仙市の経営所得安定等を始め、各種施策の推進及びその遂行のため、行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興や、農地の利用集積、担い手の育成・確保に資すること目的とした協議会
- 水田面積：17,526ha 農業者数7,261人



## 生産概要

- 【R4作付面積（うち受益地面積）】水稲:9,500(6,556)ha、大豆:1,423(1,067)ha、小麦:31ha（26ha）（R4）
- 主食用米の国内需要が減少する中で、水田の有効活用を図るため国の戦略作物となっている大豆の生産（拡大）を重点的に推進するため、平成26年度から市独自に助成措置を講ずるなど、大豆の生産振興に取り組んでいる。

## 取組のポイント

### <需要に応じた生産の取組>

- 実需者が求める高品質な大豆の安定生産に向け、市内における栽培技術の高度化を図るために、現地検討会や研修会を開催。R3年産以降、農産物検査における1・2等比率を向上させており、生産者の収益性確保にもつながっている。



### <作付面積、団地化面積の拡大>

- 機械等の導入によって適期作業や作業効率化を図り、栽培技術等の研修会と併せた団地化推進の周知により、大豆の作付面積及び団地化面積の拡大に取り組んでいる。

### <土壌診断に基づく土作りの実施>

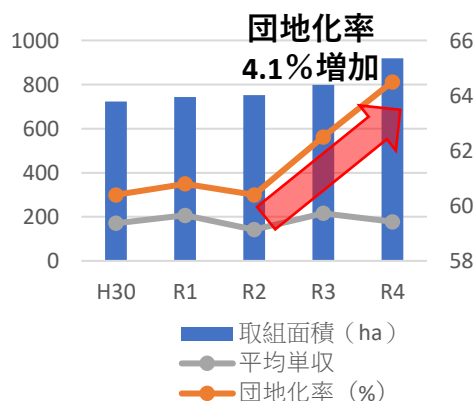
- 土壌診断結果に基づいた土壌改良資材を施用することによって、収量の安定化を図っている。

## 取組成果

### <大豆生産の高位安定化を実現>

- 研修や推進会議の開催により、団地化が進み、作業効率が向上したため、作付け拡大につながった。また、適期作業が可能となったため、大雨等の被害をうけつつも県平均を大きく上回った。

【大豆の取組面積、団地化率、単収の推移】



【大豆作付面積】※（ ）はR4受益地

取組前：R3=1,246ha（946ha）

取組後：R4=1,423ha（1,067ha）

目標：R8=1,300ha

【団地化面積・団地化率】※（ ）はR4受益地

取組前：R3=753ha・60.4%（667ha・70.5%）

取組後：R4=919ha・64.5%（778ha・72.9%）

目標：R8=810ha・62.3%

【単収推移】※（ ）は県平均

取組前：R3=216kg/10a（158kg/10a）

取組後：R4=178kg/10a（122kg/10a）

目標：R8=220kg/10a